



平成 26 年 11 月 6 日

各 位

会 社 名 アニコム ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 小森 伸昭  
(コード：8715 東証一部)  
問合せ先 取締役経営企画部長 須田 一夫  
(TEL. 03-5348-3911)

## 平成 27 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想との差異及び 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年5月8日に公表した平成27年3月期第2四半期累計期間（平成26年4月1日～平成26年9月30日）の業績予想と実績に差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

また、あわせて平成27年3月期通期（平成26年4月1日～平成27年3月31日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想と実績の差異

(1) 平成 27 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間(平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日)

	経常収益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	
前回発表予想 (A)	10,299	243	147	8円78銭
今回実績値 (B)	10,662	672	457	26円35銭
増減額 (B-A)	363	429	309	—
増減率 (%)	3.5	176.2	209.8	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	8,849	300	186	10円84銭

(2) 平成 27 年 3 月期第 2 四半期個別累計期間(平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日)

	営業収益	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	
前回発表予想 (A)	257	△3	△2	△2	△0円13銭
今回修正 (B)	252	△4	△3	△8	△0円49銭
増減額 (B-A)	△4	△0	△0	△6	—
増減率 (%)	△1.9	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	242	35	37	23	1円36銭

## 2. 業績予想の修正

(1) 平成27年3月期通期連結業績予想の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	経常収益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	
前回発表予想(A)	21,790	800	509	29円38銭
今回修正予想(B)	22,179	1,232	822	47円28銭
増減額(B-A)	388	431	312	—
増減率(%)	1.8	53.9	61.3	—
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	18,366	733	447	25円97銭

(2) 平成27年3月期通期個別業績予想の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	
前回発表予想(A)	543	72	74	46	2円68銭
今回修正予想(B)	537	37	39	17	1円02銭
増減額(B-A)	△6	△34	△35	△28	—
増減率(%)	△1.2	△48.1	△47.2	△62.0	—
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	503	92	95	61	3円58銭

## 3. 業績予想修正の理由

(1) 連結経常収益の上方修正

当社グループの中核子会社であるアニコム損害保険株式会社においてペット保険の契約獲得が順調に推移していることに加え、資産運用収益も当初の予想を上回って推移していることから、通期の経常収益を前回予想の21,790百万円から22,179百万円へ上方修正いたしました。

(2) 連結経常利益及び当期純利益の上方修正

① E/I損害率<sup>注1)</sup>の改善

損害率改善施策の効果が着実に発現していることに加え、保険金支払体制の強化や消費税増税の反動減等により保険利用頻度が当初想定より低い水準となったことでE/I損害率が改善傾向を示しております。下期においては消費税増税の反動減は収束するものの、損害率改善施策の効果は継続すると想定されることから、通期のE/I損害率について前回予想の67.3%から1.8pt改善の65.5%に修正いたしました。

② 事業費率の改善

継続的な業務改善効果の発現や好調な保険引受による規模の経済効果もあり、事業費率(既経過保険料ベース)<sup>注2)</sup>は改善傾向にあることから、通期の事業費率について前回予想の28.8%から0.4pt改善の28.4%に修正いたしました。

以上の結果、通期のコンバインド・レシオ(既経過保険料ベース)<sup>注3)</sup>について前回予想の96.1%から2.2pt改善の93.9%に修正した結果、経常利益及び当期純利益を上方修正しております。

- 注1) E/I 損害率:発生ベースでの損害率。  
(正味支払保険金+支払備金増減額+損害調査費)÷既経過保険料にて算出。
- 注2) 事業費率(既経過保険料ベース):既経過保険料を分母として算出した発生ベースの事業費率。  
損害保険事業費÷既経過保険料にて算出。
- 注3) コンバインド・レシオ(既経過保険料ベース):  
E/I 損害率+事業費率(既経過保険料ベース)にて算出する費用の指標。

### (3) 個別業績の下方修正

連結での順調な業績を受け、将来の新規事業に向けた研究開発等の先行投資の一部を当期に前倒しして実施する計画に変更したため、前回予想よりも費用が計上される見込みであります。

(注)上記の業績予想は本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって、予想数値と大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上